

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 3 日

事務事業名		自然災害対策・対応事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050302000375
						単独/補助	単独	所属課	060101 建設課
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	
総合計画の施策名		0503 道路網の整備						グループ	建設グループ
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						担当者名	
施策名		03 道路網の整備							
手段名		02 ②市道の維持管理、危険箇所の改修							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
01	11	02	01	01	00		単年度繰返し (年度~)		
法令根拠							道路橋梁災害復旧事業		
道路法							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
自然災害によって、道路・河川・水路などの公共土木施設が被災した際に、元の状態に戻す復旧工事を行う。また、倒木処理や積雪時の除雪により、道路を安全に通ることができる状態に戻す作業を行う。	台風、大雨、雪など自然災害が発生した際は、パトロールの実施と通報を受けた箇所の現地確認により被害状況を把握する。 緊急工事が必要な箇所は、予算の調整、復旧工法検討等、迅速な発注を行う。 被災の規模について、業者委託が必要なものと嘱託作業員(シルバー人材センター)で対応出来るものか、仕分けを行う。 予算調整をはじめ、工法検討、測量・設計及び見積もり徴収など、復旧工事発注に向けた準備を進める。工事発注により早期復旧を図る。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
被災箇所の被害状況把握	自然災害発生件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
緊急工事の早期発注			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
被災規模の仕分け			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
予算調整、工法検討、測量・設計又は見積もり徴収			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
工事発注			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
被災した公共土木施設	被災した公共土木施設数	箇所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
元の状態に復旧する	復旧件数	箇所	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	1	0	1			
	事業費計(A)	千円	1	0	1			
正規職員従事人数	人	13.00人	14.00人	14.00人				

04年度事業費 実績 (千円)

05年度事業費 予算 (千円)

			14	工事請負費	1		
			合計	0		合計	1

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
	自然災害によって、道路・河川・水路などの公共土木施設が被災した際に、元の状態に戻す復旧工事を行う。	自然災害によって、道路・河川・水路などの公共土木施設が被災した際に、元の状態に戻す復旧工事を行う。	自然災害によって、道路・河川・水路などの公共土木施設が被災した際に、元の状態に戻す復旧工事を行う。

事務事業名	自然災害対策・対応事業	事務事業No.	50302000375	所属課	建設課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
地球温暖化の影響による異常気象など、自然災害は年々増加している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
市民の生命・財産に係ることから、早急な対応が求められる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 安全に通行できるようにすることにより、事故誘発の要因にならない道路に結びつく
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 道路管理者としては、当然の義務であり、放置状態ならば、事故誘発の要因となり道路管理者の責任となる
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 自然災害は、緊急をよするため、向上余地がない
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事故誘発の要因となり道路管理者責任となる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 自然災害は、いつ起こるかかわからないので削減余地がない
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である すべての道路利用者に公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	自然災害は、いつ起きるかかわからないので常日頃から準備していなければならない																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持			○	×	低下		×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
向上維持			○	×																	
低下		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>